

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 生徒一人ひとりの持てる力を最大限に引き出す学校
- 2 希望する進路が実現できる学校
- 3 社会人として通用するマナーと社会人基礎力（考え抜く力、行動する力、コミュニケーション力）が獲得できる学校
- 4 質の高い教育により、人間性豊かな人材を育成する学校
- 5 生徒及び保護者が「入学して（入学させて）良かった」と思える学校

2 中期的目標

<※令和3年度からの3か年目標>

1 基本的な生活習慣を自らコントロールできる生徒の育成 — 生徒指導の充実 —

- (1) あいさつ運動や生徒との対話を重視し、安心して学習に臨み、かつ魅力のある学校づくりをめざす。
- (2) 社会人として通用するルールやマナーについて、自ら考え自ら行動できる生徒の育成をめざす。
- (3) 生徒一人ひとりのニーズに寄り添い、生徒が相談しやすい生徒指導体制をめざす。

※学校教育自己診断(生徒対象)の「学校生活についての教員の指導」に関する項目で満足度を毎年2%引き上げ、令和5年度には73%にする。
(H30 61%, R1 59%, R2 67%, R3 70%)

2 夢や目標に向かって自ら努力できる生徒の育成 — 進路指導の充実 —

- (1) 現行の「3年間を見通した進路指導」を発展させ、新しい教育システムに適合したキャリア教育指導を再構築する。
- (2) 新学習指導要領に基づいた教育課程の編成を通じて現行の授業内容も見直し、生徒の進路希望に対応できるような授業の質の向上をめざす。
- (3) 将来教員を志望する生徒のための「教職トライコース」開始。「教職講義」の円滑な運営、「教職実習」の調整・準備を図る。
- (4) 各教科の指導内容と進路実現との関係性を重視し、教科間の意思疎通を図りながら、相互補完的な学習指導を構築する。
- (5) ICT機器の活用や研究発表等、アクティブラーニングの機会を増やすことにより、生徒の学習意欲や自己表現力の向上をめざす。
- (6) 生徒個々の学力測定を綿密に行い、計画的な学習スケジュールを提供し、家庭学習の定着化を図る。
- (7) 外国語学習や国際交流を通じて、国際社会の一員としての自己実現をめざす。

【進路成果指標】3年生時点における第1志望大学の合格率90%以上(R1 64.9%, R2 70.0%, R3 75.5%)。

国公立大学及び難関私立大学合格者数の合計15人以上。(R1 10人, R1 1人, R2 14人)

※学校教育自己診断(生徒対象)の「進路実現に関する項目」で満足度を毎年2%引き上げ、令和5年度には94%にする。

(H30 85%, R1 83%, R2 88%, R3 91%)

3 文化・芸術・スポーツを愛し、心豊かな感性を持つ生徒の育成 — 特別活動の充実 —

- (1) 行事や特別活動を通じ、生徒が自主的・主体的に参加できるような土壌を育成する。
- (2) 行事や特別活動を通じ、プレゼンテーション能力の向上をめざす。
- (3) クラス活動等の活性化を図り、学校行事の質の向上と生徒の自己有用感の育成を図る。

※行事やホームルーム活動等の満足度を毎年2%引き上げ、令和5年度には行事74%、HR79%にする。

(H30 行事49%、HR60%, R1 行事59%、HR67%, R2 行事68%、HR73%, R3 行事76%、HR81%)

4 地域や社会で貢献できるボランティア精神を持つ生徒の育成 — 地域連携の充実 —

- (1) 関連部署が連携し、学校広報活動(学校見学会、体験入学等)や学校行事への生徒の主体的な参加を推進する。
- (2) 「地域との連携」の中から、生徒の自己有用意識を高めるため、地域のイベントや清掃活動等への生徒の参加機会を増やす。
- (3) ホームページ等での情報発信力を高め、保護者や地域とのより綿密な連携を構築する。

※生徒が主体的に参加する学校説明会やボランティア活動の参加者を毎年増員し、令和5年度には450人にする。

(H30 460人, R1 300人, R2 未実施, R3 未実施)

5 人の立場に立って考えることの出来る豊かな人権感覚を持つ生徒の育成 — 人権教育の充実 —

- (1) 安全安心な学校づくりの観点から、「人権教育基本方針」や「人権教育推進プラン」等に基づき、差別を許さない力と意志を持った生徒の育成をめざす。
- (2) 相談体制を高め、様々な課題を抱える生徒のサポートに対応するための環境整備を充実させる。
- (3) 知的障がい生徒自立支援コースの生徒に「ともに学びともに育つ」教育を実践する中で、全校生との人権意識の向上をめざす。

※学校教育自己診断(生徒対象)の「人権教育等に関する項目」で満足度を毎年2%引き上げ、令和5年度には78%にする。

(H30 75%, R1 73%, R2 79%, R3 89%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学校満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学校満足度は昨年度より7ポイント上昇。また「学校に行くのが楽しい」は9ポイント上昇。特に1年生が高い傾向にある。保護者の満足度は1ポイント下がっているものの、例年通り8割超は維持。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け診断「学校生活での指導」「生徒の意見を聞いてくれる」「気軽に相談できる」についてはそれぞれ3ポイント上昇。日常の生徒指導の中に、その後のフォローができる体制が十分に確立しているためと考えられる。また、保護者の「相談に適切に応じてくれる」は5ポイント上昇。生徒相談の際にSC等を活用している成果が表れていると考えられる。 <p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け診断「進路実現に向けての指導」は昨年度より3ポイント上昇。保護者向け診断でも8割超を維持。 ・生徒向け診断「コース選択等の指導」は9割超。進路実現のための情報提供やコース選択の指導等がきめ細やかに実施されていると考えられる。 <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け診断で、行事満足度は昨年度より9ポイント、ホームルーム等 	<p>【第1回】コロナ感染症により書面開催</p> <p>① 「令和3年度学校経営計画」の説明等</p> <p>【第2回：12月16日】</p> <p>① 「学校経営計画」進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が相談しやすい体制になっているか。 ←養護教諭の複数配置とスクールカウンセラーの活用で対応しているが、相談数が増えている。居心地の良い環境(支援カード等の活用とサポート会議)づくりに努めている。 ・教職トライコースはよい取組みだと思う。 ←教職をめざす生徒のために開講した今年度は「教職講義」(2年生)を実施。次年度から教職実習が開始(小学校) ・コロナで一気にICTが進んだようだ。 ←ICT機器の活用が進んだ。生徒のプレゼンの機会が増えた。 ・地域連携の取組みは重要 ←茶吉庵プロジェクトで八尾市も入って取組みが進む。 商業施設(八尾駅前リノアス等)と連携して広報活動につなげていく。 ・大学のついている私学や授業力、集客力のある私学は人気がある。 勉強の仕方は公立の方が上である ・特色のある面白い授業(竹細工で流しそうめん、ゆるキャラ作りなど)を検討するのもよいのではないか。 ←広報活動(ブログやクラブ動画、ツイッターなど)や中学校との連携強化(中学校訪問)もかなりやっている。

<p>満足度は昨年度より9ポイント上昇。コロナ禍の中でも体育大会を実施したことと、2年生の修学旅行が予定通り実施できたことが影響していると考えられる。(2年生のポイントが高い)</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者向け診断「放課後や長期休業中の補習や講習」12ポイント、「教育情報の提供努力」が8ポイント上昇。また、「ルール・マナー、人権教育等」は8割超である。コロナ感染症に関する情報発信の確認のため、ホームページを見る機会がやや上昇している。 	<p>② 第1回授業アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 実技教科の評価が高い。 全体的に評価が上がっている(生徒にとって理数は難しい)(授業見学の感想) 選択授業の人数はちょうどよい(約20名) コースの授業はレベルが高いので中くらいの生徒が伸びない。目配りが大切。 授業の雰囲気はよい アメリカでは選択授業の科目(ダンス、演劇、自動車整備、トランペットやジャズ等)を増やしている。 ←教育課程や先生の問題がある。通常の授業の中で色々と工夫して生徒の興味に応じた授業を行っている。 タブレットの授業は副読本が入っているので調べ学習に良い。 <p>【第3回：2月16日】</p> <p>① 「令和3年度学校経営計画」の評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校紹介動画の作成を生徒に関わらせると映像作家になりたい者が出てくるかも。 ←ICT環境が整ってきたので授業等でのプレゼンの機会が増えてきた。 生徒たちはプレゼンテーションソフトを使って資料をうまく作っている。 電子黒板の活用はよい教材を共有できることが利点。 授業アンケートの満足度がやや増加していることはよい。 部活動については、コロナの影響で大会等が中止となるなど目標をなくしている。 大学でも拘束力の強い部活動より、サークルや課外活動のようなものの方が好まれる。 生徒がやりたい活動(新しい活動)があれば、考えてやればよいと思う。 地域のイベント(今はほとんど無いが)に参加するなど、人前で活動を披露する機会が必要。子どもは見られると頑張れる。 イベントの案内や、その他学校紹介的なことでも地域のツールを活用して広く地元の人に紹介するお手伝いができる。声掛けしてほしい。 大教大との連携で留学生との交流はよいと思うが、どうか ←昨年度実施した。迎える側は手間とお金がかかるので継続性に難がある。 お金の問題は難しい。基金でも募って学校でプールしておく方法も有りかと思う。
---	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 生徒指導の充実	<p>(1) 生徒との対話と学校生活における満足度の向上</p> <p>(2) 社会ルールの獲得と自己表現力の育成</p> <p>(3) 生徒の立場に配慮した生徒指導の充実</p>	<p>(1) 生徒と積極的に対話を重ね、生徒が主体的に行動するよう働きかけるとともに、生徒の活躍を校内で紹介し、活気ある学校にする。</p> <p>(2) <input checked="" type="checkbox"/> 生徒が自ら考え行動するよう生徒にとって納得感のある指導を行い、自主的に社会規範を身に付けるよう計画する。 <input checked="" type="checkbox"/> 授業やHR活動にディベートなどをこれまで以上に積極的に取り入れ、生徒が自ら考え発表する機会を増加させる。</p> <p>(3) 生徒が気軽に相談できる雰囲気が高まるよう、教員のカウンセリングマインドの更なる充実に向けた研修等を実施する。</p>	<p>(1) 生徒向け学校教育自己診断における学校生活等の項目における肯定的回答の向上 ※67% [65%]</p> <p>(2) <input checked="" type="checkbox"/> 生徒向け学校教育自己診断における関連項目の肯定的回答の向上 ※69% [67%] <input checked="" type="checkbox"/> 生徒向け学校教育自己診断アンケートにおけるプレゼン能力の肯定的回答の向上。 ※66% [64%]</p> <p>(3) 学校教育自己診断における教員と生徒の距離感に関する項目での肯定的回答の向上 ※58% [56%]</p>	<p>(1) 玄関の大型テレビモニターで学校行事・部活動等の記録を発信 75% (◎)</p> <p>(2) <input checked="" type="checkbox"/> 社会規範を身に付けることの大切さを折に触れ説明し、指導した。70% (○) <input checked="" type="checkbox"/> 授業や総合的な探究の授業でプレゼンの機会を設けた。78% (◎)</p> <p>(3) 教員による声掛けを日ごろから励行し、生徒が相談しやすい雰囲気づくりに努めた 59% (○)</p>

府立八尾翠翔高等学校

<p>2 進路指導の充実</p>	<p>(1) キャリア教育指導の再構築 (2) 授業改善に係るシステムの構築 (3) 新たな専門コースの運営 (4) 系統立てた教科指導の確立 (5) 学習意欲向上と自己表現力の育成 (6) 家庭学習の定着 (7) 国際交流活動の活性化</p>	<p>(1) <input checked="" type="checkbox"/> 生徒向けの進路選択及び科目選択について、個々の教員のガイダンス能力を高める。 <input checked="" type="checkbox"/> 授業や調べ学習、セミナー等において、積極的にキャリアガイダンスステーションを活用するとともに、教員が生徒と対話を重ねながら、生徒のモチベーションを維持し、個々の進路選択について支援する。 (2) 教員相互の授業見学・授業研究週間を年2回実施すると同時に、先端的な教科指導に関する研修を開催し、教員の授業力の更なる向上をめざす。 (3) 「教職トライコース」の教育課程の円滑な実施を通して、生徒に将来教員になるための素養を育む。 (4) 各教科が育てたい生徒と身に付けさせたい学力を確認し、3年間の指導計画を作成する。同時に「授業改善」に向けた議論と教材の共有化を図り業務の効率化をめざす。 (5) <input checked="" type="checkbox"/> ICT機器や視聴覚教材を活用して授業展開に工夫を加えるなど、生徒の学習意欲向上に繋がる授業づくりを推進する。 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習やペア学習、研究発表などアクティブラーニングを活性化し、生徒の理解力、自己表現力の向上をめざす。 (6) 生徒が継続的に家庭学習に取り組むために教育産業による学力検査等を利用し、個々の学力目標に向けた学習計画を作成し支援する。 (7) 海外語学研修を計画し、実施する。</p>	<p>(1) <input checked="" type="checkbox"/> 及び <input checked="" type="checkbox"/> ① 生徒向け学校教育自己診断における進路指導、進路ガイダンスに関する肯定的回答の向上 ※ 86% [84%] ② 卒業時の国公立大学及び難関私立大学合格者数の合計 15 人以上 [1 人] (2) ① 生徒向け学校教育自己診断における授業改善に関して、肯定的回答の向上 ※77% [75%] 授業アンケート全教科平均値の向上 ※3.28 [3.26] (3) 「教職トライコース」における「教職講義」の運営及び「教職実習」の準備。 (4) 教員相互の授業見学、教員研修等(各2回)教材の共有化を「自己申告票」に教員が各自記載。 (5) <input checked="" type="checkbox"/> 生徒向け学校教育自己診断における ICT 機器に関する項目の肯定的回答の向上 ※91% [89%] <input checked="" type="checkbox"/> 会議室 (ICT 機器導入) や電子黒板の積極的な活用。 ※活用率 77% [75%] 会議のペーパーレス化推進し、会議の時間短縮に取り組む。「勉強クラブ」運営。 (6) 生徒向け学校教育自己診断における家庭学習状況に関する項目における肯定的回答の向上 ※49% [47%] (7) 海外語学研修の実施。参加者 25 人目標。 [未実施]</p>	<p>(1) <input checked="" type="checkbox"/> 及び <input checked="" type="checkbox"/> ① 一人ひとりに応じた丁寧な進路指導により生徒満足度は向上した。ガイダンスステーションの活用については工夫が必要。91% (○) ② 15 人 (○) (3/4 現在) (2) 教員相互の授業見学週間を設けるとともに教科指導に係る研修を実施 (7月・2月)。78% (○) 授業アンケート全教科平均 3.27 (○) ICT 活用を中心に教科指導で工夫している (3) 「教職講義」大学教授 16 講座 学校の独自プログラム 8 講座 「教職実習」八尾市立小学校 14 校で実習予定。八尾市教委、八尾市校長会と調整 (○) (4) 教材の共有化について各教員が「自己申告書」に記載。(○) (5) <input checked="" type="checkbox"/> ICT 活用に向けた校内体制の整備 90% (○) 多様な使い方を校内研修等で共有し実践。 <input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板活用率 (79%/全教員) (○) 会議資料のデジタル閲覧による紙の削減を進めていきたい。 (6) 学力検査や週 2 回の朝の小テスト、英検・漢検受験を通じて家庭学習の定着を図った。54% (○) (7) 新型コロナウイルスの流行により研修は実施できず。(一)</p>
<p>3 特別活動の充実</p>	<p>(1) 生徒の主体的な活動の活性化 (2) プレゼンテーション能力の育成 (3) ホームルーム活動の活発化</p>	<p>(1) 学校行事等の企画・運営段階からの生徒の積極参加を促し、生徒が自ら運営し実現したという達成感を獲得できるようにする。 (2) 学校行事や総合学習における生徒のプレゼンテーションの機会を増やす。 (3) 主体的・対話的なホームルーム活動を行い、生徒会活動や部活動を中心に、生徒の意見を吸い上げ、その活性化を図る</p>	<p>(1) 学校教育自己診断アンケートにおける肯定的回答の向上 ※70% [68%] (2) 学校教育自己診断での、プレゼン機会の肯定的回答の向上 ※66% [64%] (3) 「意見箱」の意見を反映 部活動参加率 ※66% [64%]</p>	<p>(1) 体育祭等学校行事において生徒の意見を反映して実施。76% (◎) (2) 授業等でプレゼン機会を積極的に取り入れた。78% (◎) (3) 学校行事で「意見箱」の意見を反映。部活動参加率 63% (△) 部活動活性化の取り組みが必要。</p>
<p>4 地域連携の充実</p>	<p>(1) 学校広報活動の推進 (2) 生徒による地域進出の推進 (3) 積極的な情報発信 (4) 大阪教育大学との連携</p>	<p>(1) 学校説明会や体験入学、中学校への学校案内における生徒主体の広報活動を展開する。大教大と連携して新学校紹介リーフレットを作成 (2) 曙川東地区等の清掃活動や、地域の保育園・高齢者福祉施設等と連携した生徒の活動を増やし、愛される学校をめざす。 (3) 本校の取組みを、ホームページ等を活用し、積極的に発信する。地元中学校との連携強化を図る。 (4) 大教大との連携について整理・調整。大教大主催の教員志望者プログラムへの参加を積極的に薦める</p>	<p>(1) 広報活動への生徒参加者数 ※R3 370 人目標 [R1 延べ 361 人] ポスターやリーフレットを八尾・柏原・東大阪市中学校を中心に広く配布 (2) 地域のボランティアへの参加者数 ※R3 延べ 350 人 [未実施] 地域交流の場への参入「茶吉庵 project」 (3) HP のブログ更新 100 回/年、学校説明会参加者数 550 人 [427 人] (1 月) 地元中学 3 年生を本校に招く「翠翔 day」開催 (4) 連携メニューを整理。「教職講義」で大教大教授の講義。「教師まっすぐ」参加者数 10 人 [7 人]</p>	<p>(1) 新型コロナウイルスの影響で学校説明会の生徒参加を控えた。学校案内を八尾・柏原・東大阪市中学校を中心に配布した。(○) (2) 新型コロナウイルスの影響で地域活動は今年度見送った。「茶吉庵 project」は実施。(○) (3) 学校紹介動画を作成し放映した (市内商業施設) HP のブログ更新 (77 回/年) クラブ紹介動画配信 6 クラブ 学校説明会参加者 407 人 (1 月) 「翠翔 day」は見送り。(△) (4) 大教大との連携「教師まっすぐ」参加者 8 人 (△) 「教職講義」(7 講座/年) 理系学部ラボ訪問 (2 年生生理系)</p>

府立八尾翠翔高等学校

5 人権教育の充実	<p>(1) 安全安心な学校作りの推進</p> <p>(2) 生徒相談体制の環境整備</p> <p>(3) 自立支援コース生徒との協働作業の促進</p>	<p>(1) 不登校や問題事象の兆候を感知できる教員力の強化とともに、いじめに対しては、早期発見に努めるとともに、事象に対しては、組織的に迅速な対応を行う。</p> <p>(2) 様々な相談に対応できるように、関係教員のスキルアップを図ると同時に、発達障がい等に対するケアについても的確に指導できる体制を構築する。</p> <p>(3) 自立支援コース生徒への教育活動を通じた「ともに学び、ともに育つ」教育の一層の充実。生徒の自己肯定感の育成とともに、コース生以外の生徒との協働作業を通じて相互理解を深め、信頼し励ましあう関係を作る。</p>	<p>(1) 生徒向け学校教育自己診断の人権意識に関する項目での肯定的回答の向上 ※74% [72%] いじめに関するアンケート 年1回実施</p> <p>(2) 生徒向け学校教育自己診断の教育相談等の項目における肯定的回答の向上 ※58% [56%]</p> <p>(3) 生徒向け学校教育自己診断の人権意識に関する項目での肯定的回答の向上 ※81% [79%] 自立支援・共生推進卒業生アンケートにおいて同級生の肯定的回答の向上</p>	<p>(1) いじめ等人権に係る問題事象の兆候を見逃さず対応するよう心掛けた。 79% (◎) いじめのアンケート実施 (1月)</p> <p>(2) 定期的にサポート委員会を開催し生徒状況の共有とサポート体制構築に努めた。59% (○)</p> <p>(3) 学校行事等での協働作業を通じて相互理解は深まっている。 89% (◎)</p>
--------------	--	---	--	--